




授業科目名	紀南の自然研究 -その豊饒と危機-		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	古賀 庸憲・高須 英樹・此松 昌彦		
実施日・時間	10月10日(金) 17:30~20:40 (古賀 庸憲)		
	10月11日(土) 9:30~15:00 (古賀 庸憲)		
	10月17日(金) 17:30~20:40 (高須 英樹)		
	10月18日(土) 9:30~15:00 (高須 英樹)		
	10月24日(金) 17:30~20:40 (此松 昌彦)		
	10月25日(土) 9:30~15:00 (此松 昌彦)		
<p>【科目のねらい】 和歌山県の地質学的・生物学的自然環境は日本列島の中にあつてきわめて独特の位置を占めるだけでなく、豊かな多様性を示している。地質学的には、主として海底の堆積物からなる地層によって構成され、急激な隆起と侵食に伴って独特で急峻な地形の形成につながっている。生物学的には、黒潮の影響と温暖・多雨な気候条件の下、多様で豊かな生物相を誇っている。一方で、森林環境の三分の二はスギおよびヒノキの人工林であり、30年代以降の燃料革命に伴って管理を放棄されたままの林も多い。海岸地域も全国有数の自然海岸率を誇るだけでなく、残された干潟環境には多くの希少生物が生息している。これら豊かな和歌山の自然を、特に紀南地域に焦点を当てて解説するとともに、実際にフィールドワークを行って、その現状を検証することを目的とする。</p>			
古賀担当分	<p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 干潟の環境とそこに棲む様々な生き物の巧みな生き様について講義。田辺湾に棲息する希少種も紹介(10日) 2. 内之浦(泥干潟)と鳥ノ巣(砂干潟)でフィールド実習(11日午前、長靴、軍手など必要) 3. 干潟のカニの繁殖生態:生息場所の賢い利用法と、同一種内に2タイプの交尾行動が見られることの進化生物学的意義について解説(11日午後) <p>【テキスト・教材】 テキストは使用しません。配付資料(プリント)に沿って進めます。</p> <p>【事前学習】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 資料を事前(1週間前まで)に配付するので、目を通しておいてください。 (2) さらに詳しく学びたい方は次の書籍をご利用ください。「和白干潟の生き物たち」逸見泰久著、海鳥社(10日用)、「干潟の自然史」和田恵次著、京都大学学術出版会(10、11日用) 		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">参考図書 の紹介あり </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">フィールドワークあり </div> </div>		
高須担当分	<p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 紀南の森や林、その特徴と特異性について 2. 紀南の独特な植物たちとその生活 3. 絶滅の危機に直面する多くの植物 4. フィールドワーク(軽いソウキングが出来る準備が必要) <p>【テキスト・教材】 テキストは使用しません。配付資料(プリント)にそつて講義を進めます。</p> <p>【事前学習】 「虫たちの熊野」後藤伸著、紀伊民報社、「森林と動植物」くまの文庫8 熊野中辺路刊行会、「すばらしい熊野の自然」熊野自然保護連絡協議会、などが参考になります。</p>		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">参考図書 の紹介あり </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">フィールドワークあり </div> </div>		
此松担当分	<p>【講義内容】 紀南地域において橋杭岩、瀨八丁など地質・地形的に学術的に重要な場所がたくさん存在する。それらは、天然記念物(国・県など指定)として指定され保護されている。しかしそれ以外にも重要な場所は存在し、保全の問題が生じている。どうして重要なのか解説し、また観光名所として利用されている天然記念物の保全についても考えてみたい。現地フィールドの観察も含める。</p> <p>【テキスト・教材】 当日、プリントで配付予定。</p> <p>【事前学習】 参考文献として「紀の国石ころ散歩」(宇治書店 原田哲朗編著 1988年) 現在は絶版ですが地元図書館にはあるでしょう。事前に読んでおくと、成因について理解できて重要性について理解が深まる。</p>		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">参考図書 の紹介あり </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">フィールドワークあり </div> </div>		